

第 8 回
全日本少年少女けん玉道選手権大会
東海代表選考会
大会結果

期日	平成 8 年 6 月 22 日 (日)
会場	名古屋市総合体育館・第 3 競技場
主催	日本けん玉協会東海総支部

男子の部 予選成績

上位20名

順位	氏名	学校名			学年	得点
1	岩田 祥	静岡県	御殿場市	御殿場南小学校	6年	45
2	小林 慎也	長野県	富士見町	富士見小学校	6年	44
3	別府 総平	静岡県	浜松市	芳川北小学校	6年	41
4	佐野 広明	静岡県	長泉町	長泉北小学校	5年	40
5	椎田 直也	静岡県	沼津市	開北小学校	3年	40
6	佐野 孝典	静岡県	長泉町	長泉北小学校	3年	40
7	墨 太基	長野県	岐阜市	富士見小学校	3年	39
8	三井 教史	長野県	富士見町	富士見小学校	6年	38
9	後藤 拓哉	岐阜県	岐阜市	加納西小学校	6年	37
10	松原 幸太郎	岐阜県	岐阜市	厚見小学校	3年	36
11	佐々木 健太	静岡県	沼津市	金岡小学校	5年	34
12	荒川 慧	愛知県	名古屋市	明正小学校	4年	34
13	瀨瀨 和輝	岐阜県	岐阜市	厚見小学校	3年	34
14	辻 弘明	岐阜県	岐阜市	厚見小学校	3年	33
15	土屋 祐治	静岡県	浜松市	芳川北小学校	6年	33
16	今関 良太	静岡県	御殿場市	富士岡小学校	4年	32
17	川合 佑介	岐阜県	岐阜市	厚見小学校	3年	31
18	岩田 達也	岐阜県	岐阜市	厚見小学校	3年	31
19	斉藤 健志	静岡県	沼津市	第五小学校	4年	31
20	林 永佑	岐阜県	岐阜市	厚見小学校	3年	31

合計 55名参加

男子1回戦第1試合

岩田			種目	三井		
1	2	3		1	2	3
			宇宙一周	×		
			灯台とんぼ返り	×		
秒			タイム競技	秒		
2			得点	0		

男子1回戦第2試合

佐野広			種目	椎田		
1	2	3		1	2	3
			一回転飛行機	×		
×	×		うぐいす	×		
			タイム競技			
1			得点	2		

男子1回戦第3試合

別府			種目	佐野孝		
1	2	3		1	2	3
×	×		うぐいす	×		
			一回転飛行機	×		
			タイム競技			
1			得点	2		

男子1回戦第4試合

小林			墨			
1	2	3	種目	1	2	3
×			ふりけん(もちかえて)はねけん	×	×	
×	×		灯台とんぼ返り	×	×	×
秒			タイム競技	秒		
2			得点	0		

男子準決勝第1試合

岩田			椎田			
1	2	3	種目	1	2	3
×			灯台とんぼ返り	×	×	
×			ふりけん(もちかえて)はねけん	×	×	
秒			タイム競技	秒		
2			得点	0		

男子準決勝第2試合

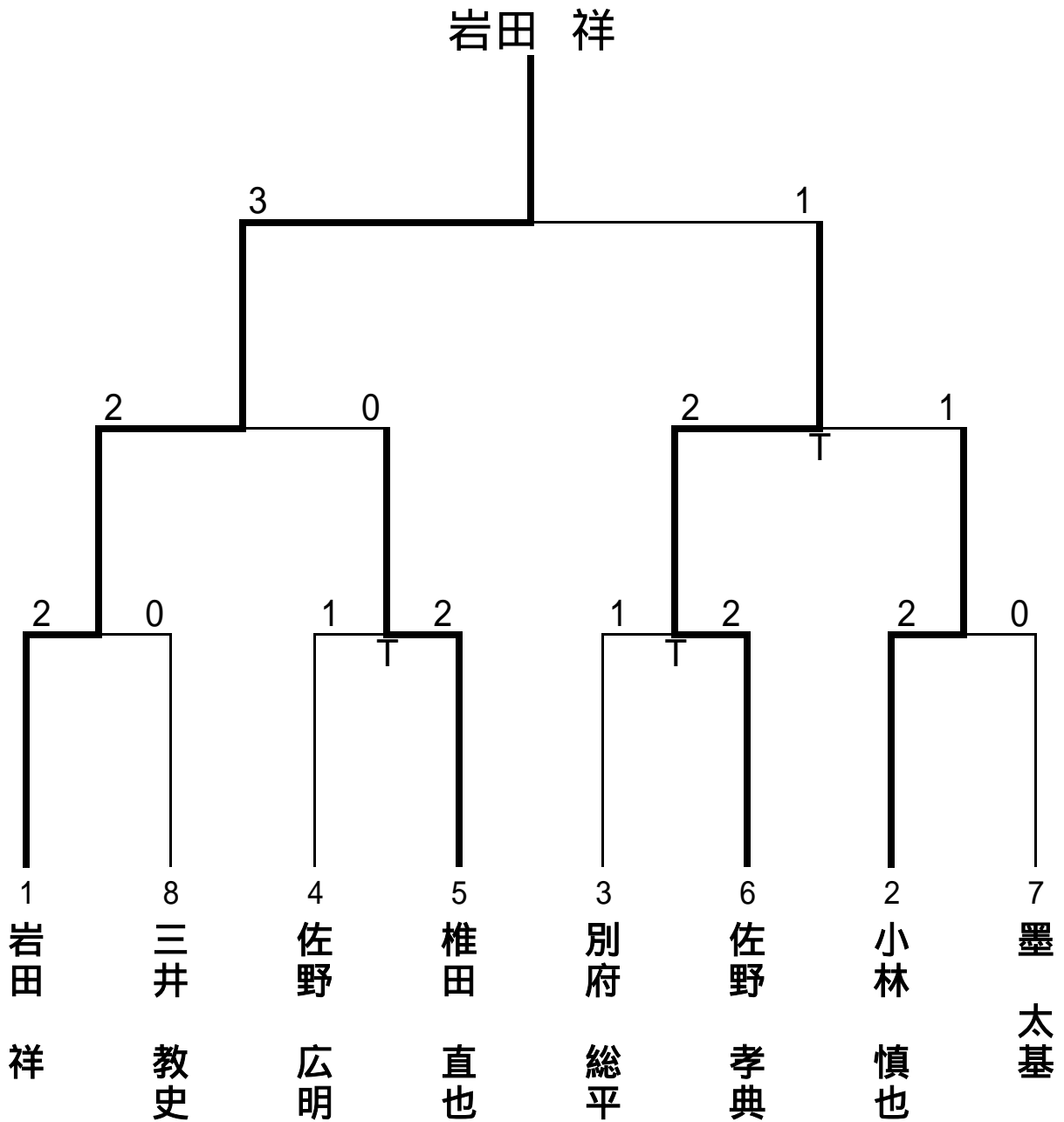
佐野孝			小林			
1	2	3	種目	1	2	3
×			ふりけん(もちかえて)はねけん			
			地球まわし		×	
			タイム競技			
2			得点	1		

男子決勝

岩田			種目	佐野孝		
1	2	3		1	2	3
×			・ 灯台とんぼ返り	×	×	
			一回転飛行機	×		
×			・ つるしとめけん			
			さか落とし			
	×		・ ふりけん(もちかえて)はねけん		×	×
秒			タイム競技	秒		
3			得点	1		

男子の部 決勝トーナメント

優勝: 岩田 祥
準優勝: 佐野 孝典



女子の部 予選成績

上位18名

順位	氏名	学校名			学年	得点
1	尾藤 百合加	岐阜県	岐阜市	厚見小学校	3年	41
2	伏見 万里子	長野県	富士見町	富士見小学校	6年	41
3	三島 亜希恵	岐阜県	岐阜市	厚見小学校	3年	35
4	四津谷 昌美	愛知県	名古屋市	明正小学校	4年	33
5	鷲見 真奈美	岐阜県	岐阜市	厚見小学校	3年	32
6	広瀬 円香	静岡県	御殿場市	御殿場南小学校	6年	32
7	鈴木 由布紀	愛知県	名古屋市	明正小学校	5年	29
8	吉山 野花	愛知県	名古屋市	明正小学校	4年	29
9	大島 明子	愛知県	名古屋市	明正小学校	4年	25
10	渡辺 幸代	愛知県	名古屋市	日比津小学校	6年	23
11	横山 香	静岡県	御殿場市	御殿場東小学校	6年	21
12	高木 梢	静岡県	御殿場市	御殿場小学校	4年	14
13	谷口 真美	愛知県	名古屋市	日比津小学校	6年	13
14	宮地 めぐみ	愛知県	名古屋市	明正小学校	5年	10
15	小林 舞	長野県	富士見町	富士見小学校	4年	8
16	舟橋 花純	愛知県	名古屋市	諏訪小学校	3年	8
17	江上 里奈	愛知県	名古屋市	明正小学校	3年	6
18	日比野 志保	愛知県	名古屋市	日比津小学校	3年	5

合計 26名参加

女子1回戦第1試合

尾藤			種目	吉山		
1	2	3		1	2	3
×			世界一周			
			地球まわし	×		
			タイム競技			
1			得点	2		

女子1回戦第2試合

四津谷			種目	鷺見		
1	2	3		1	2	3
			世界一周			
×	×	×	さか落とし	×	×	
×			一回転灯台			
秒			タイム競技	秒		
0			得点	2		

女子1回戦第3試合

三島			種目	広瀬		
1	2	3		1	2	3
×			さか落とし	×	×	
×		×	つるしとめけん	×		×
×	×		地球まわし	×		
			タイム競技			
1			得点	2		

女子1回戦第4試合

伏見				鈴木		
1	2	3	種目	1	2	3
			さか落とし	×		
×			宇宙一周	×	×	
秒			タイム競技	秒		
2			得点	0		

女子準決勝第1試合

吉山				鷺見		
1	2	3	種目	1	2	3
			世界一周			
			宇宙一周	×		
×	×	×	うらふりけん	×	×	
			タイム競技			
1			得点	2		

女子準決勝第2試合

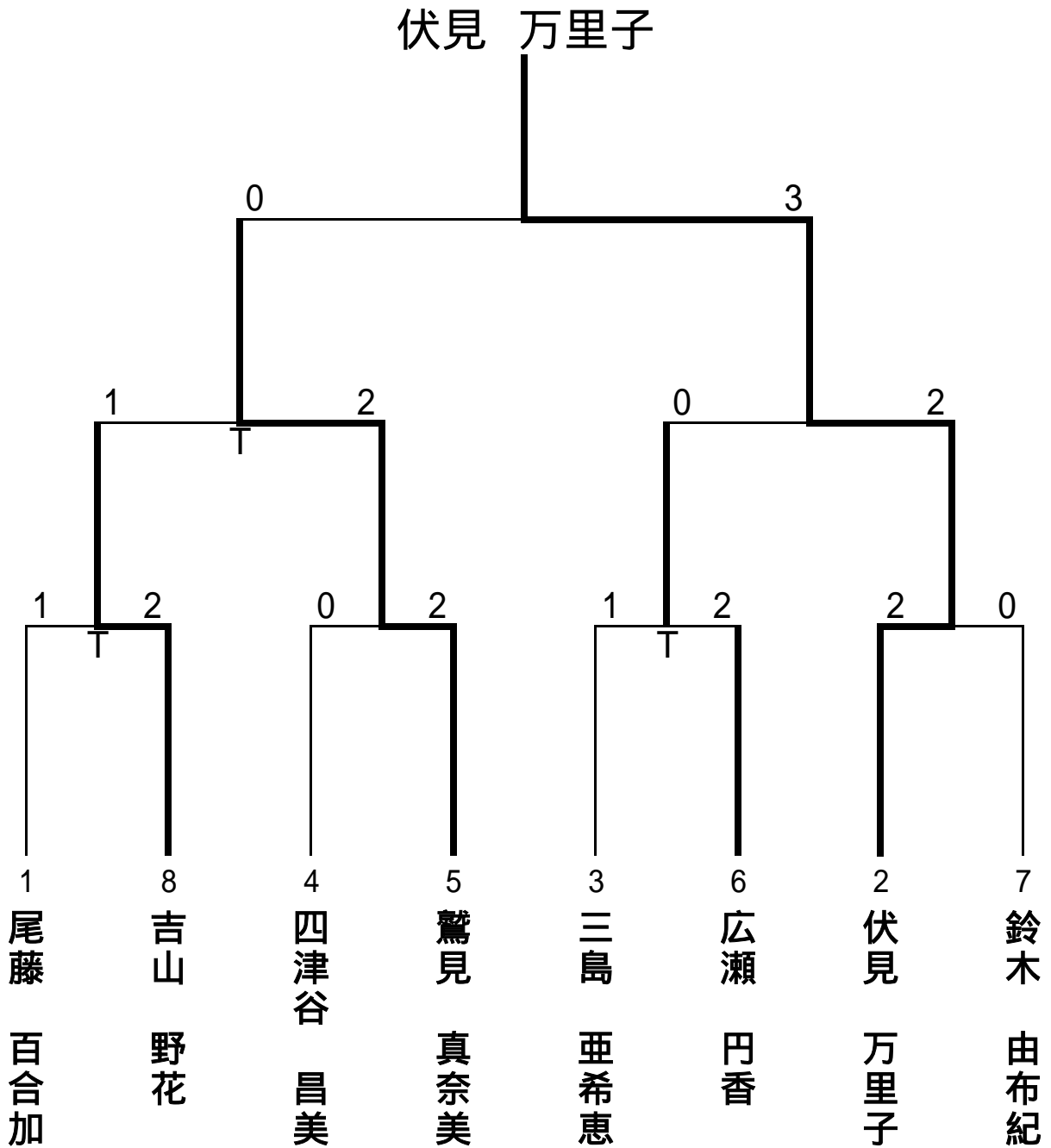
広瀬				伏見		
1	2	3	種目	1	2	3
×	×	×	一回転飛行機	×	×	×
			けん先すべり			
	×		宇宙一周			
×	×		つるしとめけん	×		
			タイム競技			
0			得点	2		

女子決勝

鷺見			種目	伏見		
1	2	3		1	2	3
×	×		・ 一回転飛行機	×		
		×	・ 世界一周			
×			・ うらふりけん			
			・			
			・			
			・			
秒			タイム競技	秒		
0			得点	3		

女子の部 決勝トーナメント

優勝: 伏見 万里子
準優勝: 鷺見 真奈美



第8回文部科学大臣杯全日本少年少女けん玉道選手権大会

東海地区予選レポート 岩田 祥

小学校の最高学年となり、文部大臣杯への挑戦もこの年が最後となりました。昨年の私との大きな違いは、何よりトーナメントを最後まで勝ち進み、全国大会に出場したという「経験」です。この経験を武器に、大会連覇という偉業への挑戦が始まります。しかしそこには、新たな重圧が待ち受けていました。

前大会の優勝者として

試合前の私は、平常心とは程遠い状態にありました。前回大会のチャンピオンとして、試合に臨むことが、想像を絶する負担であったからです。昨年のような意気込みから生じるプレッシャーならばまだしも、この類のものは、言い換えれば「負けは許されない」「無様なプレイはできない」と言った、弱気そのものです。弱気を克服しない限り、勝利を手にはできません。

予選

予選の段階から、すでに重圧との戦いは始まっていました。第一種目一回目の「とめけん」で失敗をしてしまった事からもその様子が伺えます。その後何とか立て直して1位で通過したものの、五回もミスを犯してしまったのは、普段の練習から見れば有り得ない事でした。

決勝トーナメント

私は何とか平常を保とうと、模索し続けました。けん玉は、精神面が大きく関わる競技です。対一の対戦方式ならば、正にそれが色濃く出てきます。故に各人が、何らかの形で理想の精神状態にたどり付かねばなりません。その時の私は、その術を持ち合わせていませんでした。では、いかにして重圧を跳ね除けたか。それは、最悪と言える気持ちのまま、刻々と迫る決勝トーナメントに焦りを募らせている中で、練習に励むライバル達の姿を目にしたのがきっかけです。ただ目の前の技、自らのけん玉のみを見つめるその姿から、私は試合が始まりさえすれば昨年の優勝者も一選手に過ぎないという事を、唐突に理解したのです。「ここまで来たら信じるのは自分のプレイのみ」という捨て身の覚悟が、プレッシャーから解放してくれたのでしょうか。その後私は、一度も相手に得点を許すことなく、決勝へと勝ち進みます。

連覇への最終関門

決勝戦は、同じ大川門下の対戦となりました。この時の対戦相手が、後に東海地区の一時代の担い手となる、「佐野孝典」選手であったことには、大変な感慨深さがあります。試合は、今大会初の失点を許しましたが、普段通りのプレイに徹した私が、3-1で勝利を収めました。この瞬間、私は連覇を達成することができたのです。

東海大会で得られたもの

けん玉という競技の、ここ数年での発展には目覚ましいものがあります。近年の小学生プレーヤーに、当時私では太刀打ちできません。しかしだからと言って、私の二年間の大会成績がまったく意味を成さないという訳ではありません。後に訪れる、東海地区の群雄割拠の時代へと、確かに橋を渡したのだと確信しています。

それを誇りに、私は今後もけん玉プレーヤーとして人生を歩み続けるでしょう。